

インターバンクの声（2014 年 10 月 17 日）

昨晚のドル円相場はロンドン時間において 105 円の半ばまで下落する場面もみられたが、そこからはゆるやかに上昇に転じた。新規失業保険申請件数は前週比 2 万 3000 件減の 26 万 4000 件（市場予想は 29 万件）と堅調であったことが好感されたようだ。また、連日下落している米ダウは、序盤は軟調な展開が続いていたが、徐々に下げ幅を縮小して前日の終値付近で引けた。一方、セントルイス連銀のブロード総裁が債券購入プログラムの終了の先送りを検討すべきだとの見解を示したことに好反応を示した。2 年ぶりの水準まで上昇した VIX 指数も低下しており、落ち着きを徐々に取り戻しているようにも見受けられる。

本日は、イエレン議長、ローゼンブレン・ボストン連銀総裁の講演が控えている。今週は先週末のフィッシャーFRB 副総裁の発言に始まり、FED の要人発言に相場が一喜一憂する場面が多い。本日も固唾を飲んで発言内容を見守ることになるだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。